



発行代表者：菊池敏博 編集代表者：長澤 直 印刷所：(株) アクセア

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-3-1-900 大阪駅前第1ビル 9F 岩手県大阪事務所内
【TEL&FAX: 06-6344-5969 Webサイト: http://www.iwate-kansai.com/】

第13回三県人会合同納涼ビアパーティ

70名(岩手20名・青森15名・秋田35名)の参加者

2024年7月20日(土)

7月20日(土)、大阪なんば『道頓堀ホテル』でビアパーティを開催し、総勢70名が参加し親睦交流を深めました。県ごとの参加と配席は、岩手県20名3テーブル、青森県15名2テーブル、秋田県は35名5テーブルとしました。



今年の幹事は当関西岩手県人会で、司会は澤口朋哉常任幹事がステージ横の司会席に立ち、開会を宣言しました。

三県人会の代表、関西岩手県人会池田希和夫副会長、近畿青森県人会杉田清和会長、近畿秋田県人会加藤俊勝会長司会の澤口氏 がステージに上がり「パーティを楽しみ交流しましょう」と順に挨拶をしました。

会からの余興のエントリーはなかったものの、阿部邦彦さん、菊池憲治常任幹事、雨宮亨幹事らが見事な「喉」を披露してくださいました。その後はカラオケタイムとなり近畿青森県人会、近畿秋田県人会からのカラオケ披露が続き、賑やかな宴となりました。



上: 寺崎 & 中川
右: 梅若さんと一緒に



左から杉田会長、池田副会長、加藤会長

乾杯は、北東北三県事務所築田隆所長に力強くご発声いただき、しばしの間、会食・懇談になりました。はやくも、ビールジョッキを片手に談笑する様子が見られました。

余興のトップバッターは、近畿青森県人会から寺崎達也さんの津軽三味線と中川トシエさんの歌と太鼓で民謡が披露されました。続いて、近畿秋田県人会からは、梅若晶子さんの三味線に合わせ、近畿秋田県人会メンバーにより東北民謡が披露されました。同時に、ステージへお誘いがあり、これに応えた方を交え三県人会合同の合唱となりました。この民謡に合わせ踊る方々が、テーブルの間を列となって巡る場面が見られ、ステージとフロアの一体感を感じました。当岩手県人



カラオケ3人衆登場！左から阿部氏、菊池氏、雨宮氏

県を超えて歓談・交流する場面があちらこちらに見られました。ビアパーティは13回目となり、このパーティで馴染みとなっている方も多くおられ、旧交を温める場面も見られました。他県の方に積極的に話かけ交流を広げようとする方もおられました。

青森、秋田、岩手の順で、県人会ごとに写真撮影しました。次回の幹事となる近畿青森県人会杉田清和会長が閉会の挨拶をして、パーティを閉じました。



近畿青森県人会 杉田会長



笑顔でパチリ！

今回の幹事は、当関西岩手県人会でした。その取組みは会場探しから始まりました。開催時期、収容人数、余興の制限、会費、集まりやすさなどを検討し『道頓堀ホテル』に決めました。いくつかの懸念がありましたが、昨年の108名に及ばないものの70名の参加を得たこと、大きな制約を受けることなく余興を演じただけしたこと、何よりもご参加の皆さんにビアパーティを楽しんでいただけたようで安堵しています。

次のビアパーティ幹事は近畿青森県人会です。多くの方に参加いただき、北東北三県人会の親睦交流を継続し広げたいものです。
(事務局K)



関西岩手県人会参加者全員で記念撮影

第15回京都清水寺で南部風鈴を愛でる会

京都清水寺回廊に南部風鈴を8月の間飾る「南部風鈴を飾る事業」は今年で15回目となりました。

猛暑が続く7月30日(火)に清水寺の寺務所会議室に午前9時に集合し、風鈴の飾りつけの作業を行ってきました。京都岩手県人会、関西岩手県人会、関西奥州の会、南部風鈴を愛でる会の会員と清水寺、岩手県大阪事務所など20数名で、風鈴を箱から出して短冊を付けて回廊に運搬し、風鈴を取り付けるという作業を行いました。昼頃には500個以上の風鈴取り付けを終了しました。何個かの風鈴には回廊を行く観光客に声をかけて短冊に願いと氏名を記入して回廊に掛けてもらいました。海外からの方たちにとっては貴重な体験だったと思います。



風鈴の準備

回廊に取り付ける

7月31日(水)10時から清水寺本堂で東日本大震災の法要を行った後、風鈴を飾ってある回廊に移動し、森清範清水寺貫主、達増拓也岩手県知事、京都開晴小中学校の児童と生徒さん8名による風鈴の掛け初め式典が執り行われました。式典では掛け初めの他、西脇隆俊京都府知事による祝辞やバンジョー奏者北村謙氏によ



掛け初め式典(司会は岩手県大阪事務所の武藤次長です)

清水寺に岩手の風鈴が涼やかに響く

2024年7月30日(火)準備、31日(水)法要・式典・祝賀会

る奉納演奏も行われました。

11時20分には寺務所内の洗心洞に移動して、15回をお祝いする記念祝賀会が開催されました。



京都市少年合唱団25名による合唱

京都市少年合唱団による涼やかな合唱が披露され祝賀会が始まりました。岩手県からは達増知事の他、岩手県商工労働観光部や岩手県大阪事務所などから6名が出席し、更には南部風鈴の製造元で風鈴を寄贈された株式会社岩鉄(盛岡市南仙北)の石清水弥生社長と宮崎勝徳専務も出席されていました。株式会社岩鉄には南部風鈴を愛でる会から感謝状と森貫主揮毫の額が贈呈されました。達増知事の祝辞の後、乾杯・会食・歓談となり13時30分に閉会となりました。



達増知事による祝辞

(株)岩鉄へ額の贈呈

8月31日(土)に風鈴を取り外し、9月22日(日)には取り付けられていた短冊は清水寺南苑にて例年通り「お焚き上げ」されました。その願いが叶えられるよう京都の空に舞い上がっていったでしょう。
(事務局N)



当日の朝に延暦寺様から、雨の予報なので会場を急遽延暦寺会館1階の「瑞宝の間」に変更すると連絡があつた。雨の心配をせず法要に参列できるのはありがたかった。参列者は法要に53名(会員36名)講演会に46名(会員31名)で昨年より多かつた。

八重樫善幸副会長の司会で、参列者代表の深田 稔の挨拶で始まり、その後に読経が続き、途中より参列者全員が焼香した。今年も岩手の「りんどうの花」が献花に間に合わず残念だった。



深田会長と司会の八重樫氏



横山大僧正による読経

供養の読経が終了後、北水会(岩手大農学部同窓会)近畿支部会員(12名)による自啓寮歌合唱があった。詩朗読は例年だと比叡山高校の生徒さんにお願いしていたが、手違いにより実現できず急遽、賢治さんのもう一つの母校盛岡一高出身の熊谷俊夫幹事(京都岩手県



熊谷氏の朗読



北水会会員による寮歌合唱

人会、白亜会)が、「雨ニモ負ケズ」の詩を味わい深く朗読された。その後全員で「精神歌」を合唱し賢治さんを偲んだ。

今回は遠藤泰久幹事の発案で、寮歌も精神歌もあらかじめスマホに録音し、その音声をマイクで拡大する方法を試みた。機器操作の手間がなく重宝だが、やや迫力不足を感じ、改良の余地がありそうである。

今年も賢治さんおよび清六様の宮沢ご兄弟の他、有縁物故者として、副会長の和田 浩氏(享年92歳)、会員の松生 脊氏(享年86歳)、14回忌を迎える東日本大震災の犠牲者の供養をお願いした。和田家の焼香には後輩の平野良夫氏(岩手大理工学部同窓会・一祐会副支部長)、松生家の焼香は同郷の奥村昭吾氏(久慈ふるさと会々長)、震災犠牲者の焼香は岩手県大阪事務所の渡邊菜実氏がそれぞれ代理を務め、会員とともに故人を偲んだ。

導師の横山照泰大僧正のご挨拶は、賢治さんの作品は「時代の窮屈さ」を物語る。理想ばかりでなく日常の些細な事を取り上げたと述べ、そして現在世界で殺戮を平氣とする大国の指導者の行動を嘆かれた。

午後の記念講演会は長澤 直副会長の司会で、西 成彦先生(立命館大学名誉教授)が「宮沢賢治の文学と残酷さ」の演題で講演され好評であった。

(関西宮沢賢治の会 会長 深田 稔)



講演司会の長澤氏



西成彦立命館大名誉教授



法要記念撮影 左：アテルイを顕彰する会(奥州市)の会員 右：関西アテルイ・モレの会の会員

今年も又北天の雄アテルイとモレらを慰靈する『阿弓流為・母禮之碑』法要が清水寺南苑にて、130余名が参加して行われました。今年は建碑30周年にあたるので、岩手の伝統芸能：金津流石関獅子躍の一行を奥州市より、また京都鬼剣舞を勧請して西門下で演舞を披露したところ、観客から割れんばかりの拍手がわきました。



金津流石関獅子躍



森美和子様の篠笛



京都鬼剣舞



森貫主の法話



清水寺コンサート

その後、森清範貫主様より「王貞治氏の色紙と言葉を参照しながら、努力は必ず実る。実らない努力は努力ではない」との法話を頂戴しました。

次いで、「北上川」を作曲された芦屋市在住の作曲家小野瀬晃一氏プロデュースによる「下坂龍志：清水寺コンサート」が催され、民謡歌手の下坂龍志氏による「北上川」「南部蝉しぐれ」、米谷大輔氏による尺八演奏、片倉健十郎氏による「北上線」、下坂氏による民謡相撲甚句が披露され、会場の参加者より万雷の拍手が贈られました。

午後1時過ぎより、洗心洞にて100余名が参加して懇親会が始まりました。会長の和賀より「今年15周年を迎えた清水寺で南部風鈴を愛する会の及川静衛会長と衆議院議員を引退された穀田恵二氏を主賓としてお迎えした。記念行事にあたり、会員からご寄付を賜り感謝申し上げる。この会も30周



挨拶をする和賀会長

年を迎え、先人・先輩達の多くが鬼籍に入り、故人を知る人も少なくなった。会員も高齢化が進み、この機に会の運営の仕方も工夫すべき時が来た」と挨拶がありました。しばし歓談の後、奥州市から参加のアテルイ顕彰会の有志より「日高見わがまほろば」の合唱があり、和やかな内に散会しました。

(関西アテルイ・モレの会 会長 和賀亮太郎)



碑前での法要の様子

第11回泉大津さんま祭り 東日本大震災復興応援プロジェクト

11月10日(日)第11回泉大津さんま祭りが開催されました。東日本大震災復興応援プロジェクトとして「復幸の架け橋実行委員会」の主催で、今回で11回となります。開会式の司会も務めた石原成昭氏は、さんま祭りを主催する「復幸の架け橋実行委員会」の代表であり、大船渡ふるさと大使でもあります。泉大津市の生福寺の住職をされながら、岩手の復興を応援している方です。



当日は快晴となり汗ばむような好天に恵まれました。昨年は時折、小雨が降る寒い日にもかかわらず6000人ほどが来場したようですが、今年はお天気も良く昨年よりも多くの方が来場されていました。



さんまのつみれ汁

さんま焼き師が焼いてます

1300尾の岩手県大船渡焼きサンマが1時間で完売！

大阪府和泉市池上曾根史跡公園 2024年11月10日(日)



開会式の様子(右端が司会の石原氏)

9時半からの開会式には関西岩手県人会も来賓として菊地副会長が出席しました。さんまのチケットは10時からの販売ですが、9時前にはすでに30人ほどがチケット売り場に並び、9時半ともなると長蛇の列となりました。1300尾準備されたさんまの引き換えチケットは11時過ぎには完売となりました。ゲットした焼きサンマに備え付けの醤油をたらしていただきました。青空の下でたくさんの人たちといたさんまの味は格別なものがあります。焼きさんま以外にもさんまのつみれ汁やほたての貝焼きなどもあり、三陸の海の味を堪能できました。

開会式が終わった後のステージではジャズのミニコンサートや泉大津高校書道部のパフォーマンス、いつも太鼓などが催されていて、16時閉会まで楽しめました。是非来年はさんま祭りで、三陸の海鮮の味と一緒に楽しみましょう。

(事務局N)

青年部会で～す！ 屋形船に乗ってきました！！

9月27日(金)に、屋形船に乗って宴会をして親交を深めようという青年部会企画を行い、総勢29名のご参加を頂きました。関西岩手県人会以外の方にも興味を持って頂けたようで、多数ご参加して下さいました。

当日は、18時40分に八軒屋浜港に集合し、19時に出航し、大川を2時間かけて周遊しました。飲み物も含めてお食事は全て準備されていましたが、何名かの有志の方が、とても美味しいお酒を持参して下さり、大いに盛り上りました。船内にはカラオケも準備されていたのですが、皆様、おしゃべりに夢中で誰一人カラオケには見向きもしていませんでした(笑)。また、景色を眺めながら優雅にお食事をと考えていたのですが、景色を眺めておられる方もあまりいらっしゃいませんでした(笑)。

何はともあれ、皆様に楽しんで頂けたようで安心しました。屋形船に乗ってみたいという私の思い付きにお付き合い頂き、本当にありがとうございました。次回も、皆様が楽しめるような企画を考えたいと思いますので、ぜひご参加ください。

(坂本)

参加者全員でハイ！パチリ

The collage consists of five photographs. The top-left and top-right images show the interior of the boat with people eating. The middle-left and middle-right images are close-up shots of people. The bottom image is a large group photo of all participants posing in front of a city skyline at night.

高校野球(硬式)

花巻東女子：準優勝 男子：1回戦敗退

全国高校野球選手権大会は、花巻東高校が岩手からは初となる男女揃っての出場を果たしました。女子野球部決勝出場にあたり8月1日(木)午後2時に宝塚ワシントンホテルにて激励会を、男子は8月6日(火)午後5時にホテルスマイル新大阪コンファレンスセンターにて激励会を致しました。



菊地副会長・佐々木秋羽主将



池田副会長・村上太一主将

男子の試合に先立ち行われた第28回全国高校女子硬式野球選手権大会は、花巻東女子野球部が予選5試合を勝ち抜き、8月3日(土)の甲子園での決勝戦に駒を進めました。決勝戦の相手は兵庫県代表神戸弘陵学園高校、昨年から春夏春と3冠の強豪校です。試合は花巻東ピッチャー千葉選手と神戸弘陵ピッチャー阿部選手の投げ合いで5回まで0対0の接戦でしたが、6回表にサードゴロを1塁への暴投やタイムリーヒットで2点を先制され、7回にも1点追加されて結局0対3で試合終了となりました。試合で敗れるも選手全員の明るい笑顔では負けてはなく、準優勝という立派な成績を残しました。



ガンバレ花巻東！

男子は8月13日(火)大会第7日目1回戦最終日、対戦相手は滋賀県代表滋賀学園高校で試合開始は午後6時のナイターでの試合でした。花巻東は右の小松と左の葛西の両投手と固い守りとスキのない攻撃が持ち味です。しかし、2回に先発の小松投手が集中打で3点先取され、3回からは左の葛西投手に交代。花巻東は4回裏にワンアウト1、3塁の絶好の場面でスクイズを失敗。後続打者が三振となり得点ならずでした。5回表に3本のヒットから2点を追加されてしまいましたが、花巻東のショート森下選手のプロ並みの背面キャッチによる好守備が光りました。その後も相手投手のうまいピッティングに得点できず0対5で試合終了となりました。

岩手からMLBで活躍する選手が益々出てくることを期待します。
(奥村)



県人会大応援団

高校ラグビー(県大会)

県大会で盛工4年振り36回目の優勝

10月20日(日)決勝が行われ、準決で一昨年優勝の黒沢尻北に逆転勝ち(28-17)した盛岡工業が、昨年優勝の黒沢尻工業に辛くも逆転勝利(21-20)し、全国切符を手中にしました。

花園ラグビー場で行われる全国大会は12月27日(金)から開催の予定。
(平野)

選抜高校野球(東北大会)

選抜予選とも言える東北大会で花巻東準決敗退

岩手②位の花巻東は2回戦で秋田①を、準々決で山形①を連破したものの、準決で青森①に惜敗(1-4)。東北枠は3校なので優勝(福島①・聖光)準優勝(青森①・青森山田)はほぼ当確だが、3校目は同じく準決敗退の山形中央③との争いか！山形中央は初戦秋田③、2回戦岩手①(一関学院)、準々決山形①と連破したが、準決は優勝した聖光学院に完敗(1-8)。

ただ県大会で花巻東に勝った一関(6-4)を2回戦で破った山形中央(3-1)に残念ながらやや分があると思われるが果たして選考委員会の判断は如何に…。尚、岩手③位の久慈は初戦福島③に勝利したが、2回戦で山形①に敗れた。

全国大会は選考委員会(1/24)・組合せ抽選(3/7)を経て、3月18日(火)に甲子園で開幕の予定。
(平野)

高校駅伝(県大会)

男子：一関学院 女子：花巻東

12月22日(日)西京極陸上競技場(スタート・フィニッシュ)で開催される全国大会への出場予選が10月17日(木)花巻市で行われた。男子は一関学院が昨年代表の盛付をかわし、2年振り33回目の優勝を。女子は花巻東が大会新記録で3年連続20回目の優勝を果たした。

ここ10年の全国大会での戦績は、男女何れも2017年の一関・5位、盛岡誠桜・13位なので、できればこれを凌ぐ活躍を期待したい。
(平野)

桐友会(親睦ゴルフ)の活動休止について

県人会の親睦活動の一つとしてゴルフ同好者が1980(S55)年立ち上げた「桐友会(年2回開催)」だが、参加者の高齢化等に伴い、“コンペ”が成立しない状況が続いたことから、暫く活動を休止させて頂きます。

実は東北6県と北海道の親睦ゴルフ(北東会・年1回)を1987年から持回りで開催していたが、参加者確保が困難なことから昨年秋の開催(第37回)をもって中止となりました。北東会は県人会親睦ゴルフの目玉行事でもあったので、参加者減少に少なからず影響があったものと考えております。尚、活動再開につきましては関係者のご意向等を参考に判断させて頂きます。

スポーツ部会より

地震、雷、火事、親父。

よく知られた言い回しである。親父の威厳は落ちて久しいが、韻とリズムの関係で添えられている。

地震が冒頭に来るのは、いまだ予知できないこと、しばしば津波を伴うこと。岩手県民はそのことを身にしみてわかっている。

雷も避けようがない。私はよく登山をするが、森林限界を超えたむき出しの稜線でゴロゴロと鳴り出すと、生きた心地がしない。

ところで、誠に残念なことに岩手山が登山禁止となつた。ご存知のとおり最近の兆候から噴火の可能性が高まっているからである。

火山というものはひとたび規制が敷かれるとなかなか解除にはいたらない。今後何年も、いや一生のうちに登れないかもしれない。

そう思って入山規制が発表される前に私は岩手山に登ってきた。しばしのお別れをするためである。

山頂の火口をぐるりと回って降りてきた。いわゆるお鉢めぐりである。山頂付近の荒涼とした雰囲気は、岩手県ではここならでは。まるで月面のようである。

岩手山の火山活動は特に江戸時代に活発だったようで、3回も噴火している。このうち1732年の噴火では、

大量の溶岩が北東方向に流れ、焼走り溶岩流として知られている。直近の噴火騒動は1998年のことだが、あの時も岩手山は登山規制が敷かれ、山麓の観光産業に打撃を与えた。

岩手からはるかに遠い上信国境の浅間山は、江戸の天明年間に大噴火を起こし、南部藩にも冷害や飢饉をもたらしたが、昨今になって火山活動が沈静化し、登山規制はいったん解除された。このタイミングで私はすかさず登ってきた。ところが、その後再び規制が敷かれ現在は登れない。

火山は恩恵も与えてくれる。独特の景観や温泉など、素晴らしい観光資源、さらに地熱発電のパワーなどなど。けれども、やはり火山は恐ろしい。雲仙普賢岳の火碎流にも驚いたが、10年前の御嶽噴火で多くの犠牲者が出てことも記憶に新しい。

富士山の噴火も懸念される中、南部片富士だって油断はならない。その隣には秋田駒ヶ岳が控えている。

地水風火とは四大元素を指す言葉だが、これはそのまま災害を指すと考えてよい。いまや地震、水害、台風に加えて火山の脅威も現実味を帯びている。

落ちた威厳の親父を火山にさしかかる時が来た。



荒涼とした岩手山山頂付近（2024年9月9日 多賀谷真吾撮影）

★★★ 新会員自己紹介のコーナー ★★★



三浦恒義さん　この度関西岩手人会に入会させて頂きました。

頂きました。(株)アマタケの三浦と申します。岩手県大船渡市の出身となります。地元の大船渡高校を卒業後仙台に進学し、その後地元愛もあり同社に入社、東京や名古屋等6回程転勤を繰り返した後、関西の方々の人情に惹かれまして現在は奈良県に居を定め、約10年が経ちました。

私ども(株)アマタケは岩手県大船渡市に本社がございまして、関東と関西を拠点にスーパーマーケットを中心におこだわりの鶏肉やその加工品を販売いたしておりますが、常日頃より「岩手県産」「三陸地方」などと、郷土となる岩手県の豊かな自然をお伝えしながら活動を行っております。岩手から遠く離れたこの関西の地で岩手の方々とこのようなご縁を頂けたこと、とても嬉しく感じております。

今後、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



この度、関西岩手人会に入会させていただいた相澤弘典と申します。

1967年岩手県盛岡市生まれ。18歳まで盛岡で過ごしました。松園小学校から黒石野中学校を経て盛岡北高へ。10回生でスピードスケート部でした。その後京都の同志社大学神学部へ。大学院修了後は日本キリスト教団の牧師になり、群馬(ここで結婚)、茨城、新潟、宮城の教会で牧師をし、2002年から松山でキリスト教学校の教員として働き、2020年度から頌栄保育学院に着任。1889年に創立された頌栄短期大学と頌栄幼稚園があります。現在理事長・院長です。家族は妻と4人の娘(3人は自立)と猫。趣味は落語、映画、演劇、歌。

最近無性に南部せんべいが食べたくなりネットで箱買いました。岩手山が恋しくなりPCのデスクトップに。故郷の言葉や空気を求めて入会いたしました。

どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局掲示板

会員動静

【2024年11月末日現在】

*総　数……………134名

- ・会　員……………115名　・職域幹事……………7名
- ・家族会員……………8名　・顧　問……………4名

* 6月以降の入退会者

- ・7月入会　三浦孔士さん　松尾村出身
前内真智子さん　愛媛県出身
- ・8月入会　三浦恒義さん　大船渡市出身
- ・9月入会　蘭賀未帆さん　宮古市出身
- ・11月入会　薄衣文雄さん　花巻市出身
- ・退会者　菅田　洋さん・中村　滋さん・新田陸夫さん

[物故者]

- ・齋藤淑子様　6月13日ご逝去の連絡あり
- ・浅沼正子様　7月1日ご逝去の連絡あり
- ・柏山　喬様　10月26日ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

2024年の実施および参加行事など

*役員会・総会

- *1月17日(水)第1回役員会
- *1月21日(日)総会・新春懇親会(道頓堀ホテル・45名)
- *6月12日(水)第2回役員会 (*9月18日(水)臨時役員会)
- *12月11日(水)第3回役員会

*東日本大震災13回忌法要…3月11日(月)法善寺 計7名参列

*合同親睦お花見会…3月30日(土)京都聖護院御殿荘 12名参加

*京都岩手人会総会・懇親会…5月25日(土)京都聖護院御殿荘 副会長2名出席

*関西奥州の会総会・懇親会…6月22日(土)京都聖護院御殿荘 幹事1名出席

*第13回三県合同納涼ビアパーティ…7月20日(土)道頓堀ホテル 20名参加

*第15回京都清水寺で南部風鈴を愛でる会…7月30日(火)に飾り付け 7月31日(水)法要・掛け初め式典・記念祝賀会に2名出席

*第60回関西宮沢賢治忌(賢治忌92回忌)…9月21日(土)比叡山延暦寺 関西宮沢賢治の会会員36名参列

*第17回関西アテルイ・モレの会…慰靈祭9月23日(土)枚方市牧野公園 県人会所属は3名参列

*一祐会関西支部総会・懇親会(岩手大学理工学部同窓会)…11月2日(土)道頓堀ホテル 副会長1名出席

*阿豆流為・母禮之碑建碑30周年記念法要および懇親会…11月9日(土) 京都清水寺 県人会所属は9名参列

*三県人会役員合同忘年会…12月4日(水)大阪キャッスルホテル 6名出席

〈高校野球の応援〉

*全国高校女子硬式野球大会…8月1日(木)宿舎に激励訪問 8月3日(土)神戸広陵戦

*夏の甲子園・花巻東高校…8月6日(火)宿舎に激励訪問 13日(火)滋賀学園戦

〈会報発行〉

*54号(3月)、55号(6月)、56号(12月)を発行

今後の予定

*第104回全国高校ラグビー選手権大会・盛岡工業高校…12月27日(金)~1月7日(火)花園ラグビー場

*第33回全日本高校女子サッカー選手権大会・専大北上高校…12月29日(日)~1月12日(日)兵庫県内5会場で開催

編集後記

56号もなんとか遅れずに会員の皆様に配布できてほっとしています。2名の新会員に自己紹介記事を書いていただき感謝します。5ページの青年部会主催の屋形船での宴会は大成功でした。今後の青年部会の活動に注目です。55号に青年部会グループラインのQRコードを載せてます。興味のある方は事務局までメールか電話でお尋ねください。
(編集子N)